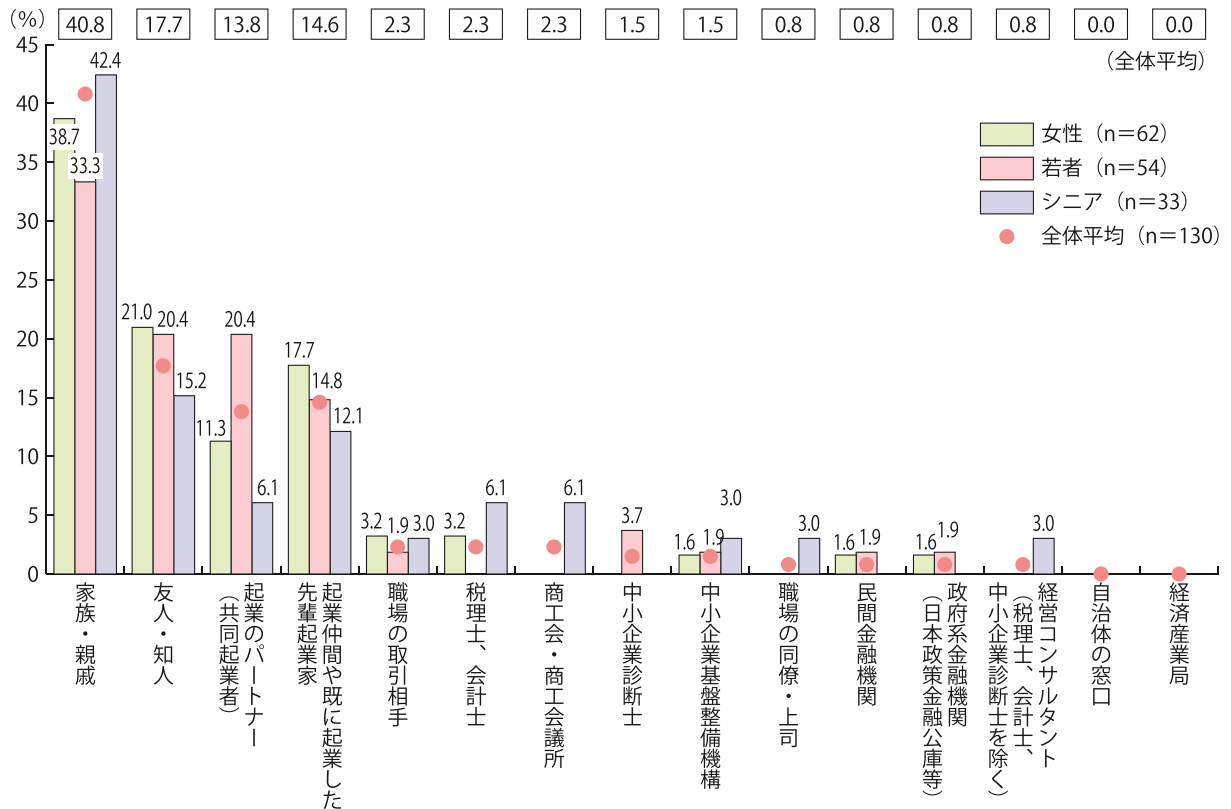


第 3-2-31 図 起業家が起業を断念しそうになった際の相談相手



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」(2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))  
 (注)「その他」は表示していない。

起業に関する相談相手について、女性や若者、シニアそれぞれの特徴を見てきたが、最も注目すべきは、起業に関して「相談相手がいない」と回答した割合が4割強も存在するという事実である。相談相手がいた場合においても、「家族・親族」、「友人・知人」の割合が高く、「税理士、会計士」、「経営コンサルティング」といった民間の支援機

関も、「商工会・商工会議所」や「自治体の窓口」といった公的な支援機関も、相談相手として選ばれている割合が低い。こうした現状を踏まえ、民間・公的支援機関を問わず、起業の準備段階において気軽に何でも相談できるような窓口を増やしていくことが起業の準備段階から実際に起業家を生み出すために不可欠といえよう。